

科目	学年・小学科	単位数
ビジネス情報	2 学年・会計ビジネス科	3
教科書	実教出版	
副教材	模擬試験問題集ビジネス情報部門1級（実教出版） 模擬試験問題集ビジネス情報部門2級（実教出版）	

## 1. 学習目標

情報通信ネットワークの導入やソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得させ、情報を効率的に処理する重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を育てる。

## 2. 学習方法

- 予習・教科書や問題集を中心に一読する。
  - ・ビジネス情報がより理解できるように学習済みの全商2級の内容のいつて確認すること。
- 復習・授業内容の定着をはかるため、適宜課題を課し小テスト等を実施する。
  - ・宿題には意欲的に取り組み、提出日に遅れないように提出する。
- 授業・講義形式の授業
  - ・グループやクラスでの話し合いや発表による言語活動
  - ・教科書を使用してのパソコン実習
  - ・インターネットを利用しての情報収集
  - ・自己評価による学びの確認

## 3. 評価の観点と趣旨

① 関心・意欲・態度	ビジネスの諸活動において、情報を主体的、積極的に活用し、将来の経済社会における情報活用のリーダーとなる意欲と態度を持っている。
② 思考・判断・表現	適切な手段を用いて情報を収集・処理し、要求に応じた適切なシステムを開発するなどの思考力・判断力・表現力を身につけている。
③ 技能	ビジネスにおける情報活用に必要な、情報の分析手段、システム開発、ネットワーク構築などの技術を身につけている。
④ 知識・理解	ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、ビジネスにおける情報活用を実践するために必要な知識を身につけている。
⑤	

科目名		学年・小学科		単位数							
ビジネス情報		2学年・会計ビジネス科		3							
学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法		
			①	②	③	④	⑤				
前期中間	ビジネスと情報	1節 情報化社会とビジネス	○				○	①ビジネスにおける情報の活用に興味を持ち、様々な情報処理システムの意義や役割について自ら進んで学ぼうとしている。 ④企業において利用されている業務システムを学び、業務システムに関する基本的な知識を身につけている。	・授業態度 ・グループ学習 ・ワークシート ・実習作品 ・実習態度 ・自己評価 ・単元テスト ・定期考査		
		2節 ネットワークとビジネス	○				○				
	情報通信ネットワークの活用	1節 ネットワークの基礎	ネットワークに関する基礎的な知識を身につけさせる。	○				○	①ネットワーク構築に必要なハードウェアやソフトウェアの学習や実習に積極的に取り組もうとしている。 ②ネットワーク構築に必要なハードウェアやソフトウェアを適切に選択し、同時に特性や課題を理解し、適切な判断に基づくデータの保護やセキュリティの管理ができる。 ④財務情報や販売情報の分析方法及び分析結果の活用に関する基礎的な知識を身につけている。	・授業態度 ・グループ学習 ・ワークシート ・実習作品 ・実習態度 ・自己評価 ・単元テスト ・定期考査	
		2節 ネットワークの構築と管理	条件に合ったネットワーク構築に必要な設定方法を考えさせながら、基礎的な知識を身につけさせる。		○			○			
3節 サーバ管理	サーバの管理の知識を習得させる	○				○					
4節 セキュリティ管理	セキュリティ管理の知識を身につけさせながら、セキュリティの大切さを学ばせる	○	○								
前期末	表計算ソフトウェアの活用	1節 集計処理	表計算ソフトを活用し、様々な業務に役立つ合理的な主計方法の知識や技術を身につけさせる。					○	○	①財務情報や販売情報の分析と活用を通して、ビジネスに関する様々な情報を自ら進んで分析しようとしている。 ②自ら工夫をして、目的に応じた分析方法を活用することができる。 ③目的に応じた表計算ソフトの効率的な集計技術を習得している。 ④財務情報や販売情報の分析方法及び分析結果の活用に関する基礎的な知識を身につけている。	・授業態度 ・グループ学習 ・ワークシート ・実習作品 ・実習態度 ・自己評価 ・単元テスト ・定期考査
		2節 オペレーションズリサーチの基礎	オペレーションズリサーチの基礎を学び、ビジネスモデルに当てはめて分析する力を身につけさせる。	○	○				○		
		3節 ビジネス計算	表計算ソフトを利用して、合理的な計算方法を身につけさせる。		○	○					
		4節 手続きの自動化	手続きの記録方法と実行方法を身につけさせる。		○	○					
後期中間	データベースソフトウェアの活用	1節 ビジネス情報とデータベース	インターネットの普及による身近なデータベースについて興味関心を持って調べさせる。	○				○	①データベースの作成に関心を持ち、その学習や実習に自ら進んで取り組み、知識や技術を身につけようとしている。 ③自ら工夫をして、データベースソフトを目的に応じて効率的に活用する技術を身につけている。 ④リレーショナルデータベースをより効率的に活用する知識を身につけている。	・授業態度 ・グループ学習 ・ワークシート ・実習作品 ・実習態度 ・自己評価 ・単元テスト ・定期考査	
		2節 データベースの利用	リレーショナル型データベースを活用して、データベースの検索機能についての知識や技術を習得させる。					○			○
		3節 SQLの操作	SQLを利用して、データベースをより効率的に活用する技術や思考力を身につけさせる。					○			○
後期末	ソフトウェアを活用したシステム開発	1節 システム開発の基礎	ビジネスに関連した情報システムの開発について、基本的な知識を習得させる。	○				○	①システム開発に、積極的に取り組もうとする姿勢で、知識や技術を身につけようとしている。 ②自ら工夫して、設計書の作成や利用者の立場に立ったわかりやすい設計や表現をしようとする工夫している。 ③自ら工夫して、目的に応じたシステムの設計や作成を行うことができる。 ④目的に応じたシステムの設計や作成を行うための知識を身につけている。	・授業態度 ・グループ学習 ・ワークシート ・実習作品 ・実習態度 ・自己評価 ・単元テスト ・プレゼン発表 ※3節と4節どちらか履修	
		2節 アルゴリズムの基礎	アルゴリズムの基礎を理解させる。		○			○			
		3節 表計算ソフトウェアによる開発	表計算ソフトによるシステム開発について、実習を通して工夫させながら習得させる。		○	○					
		4節 データベースソフトウェアによる開発	データベースソフトによるシステム開発について、実習を通して工夫させながら、しくみを理解させ知識を身につけさせる。		○	○					